

夏休みは受験の天王山 ～夏休みを計画的に～

「受験の天王山」と言われる3年生の夏休みが目前に迫ってきました。この夏休みは、受験までにまとまった時間が取れる最後の機会です。得意科目を伸ばし、苦手科目を克服するチャンスですので、事前にしっかりと学習計画を立て、夏休みを有意義に過ごしましょう。

合格を勝ち取るための夏休みのポイント

- ・志望校の入試情報を可能な限り収集する。
- ・オープンキャンパスへの参加など、志望校の実際に足を運んでみる。
- ・自分の実力、弱点をきちんと把握する。
- ・「いつ」「何に」「どのように」取り組むのかを明確にし、優先順位をつけて勉強する。
- ・模擬試験や定期考査の問題に再度取り組み、勉強の成果を確認する。
- ・周りに惑わされず、自分のペースで勉強する。

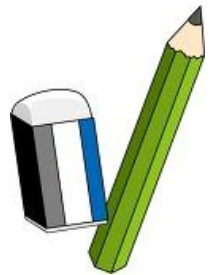


オープンキャンパスでは、志望校を体感して意欲を高めるのはもちろん、志望校の入試要綱を確認したり、受験対策冊子をもったり、交通アクセスを確認したり、プラスになることが多いです。夏休みに是非いっておきたいところです。

さて受験生はいったいどのくらい学習時間を確保しているのでしょうか？典型的な駄目パターンは「夏は自由に使える時間が長い」→「私は自由だ！」→「まあ、今日くらい遊んでも、明日やればいいや」的なパターンです。何でこうなるのか？意思の弱さもありますが、「必要勉強時間の総量」が見えていないのが一番まずいと思います。志望校に受かりたければ、この夏どれだけの量をやらないといけないのか。「**必要勉強時間の総量＝確保すべき勉強時間**」が見えないと、大事な夏休みの1日をいとも簡単に無駄にしてしまう。

必要勉強時間の割り出し方は、概算ではありますが、次の方法がシンプルでお勧めです。

- ① 夏に取り組む教材をリストアップする。
- ② 各教材について、1ページ（もしくは1章）あたりにかかる時間を見積もる。
- ③ ②にページ数（章数）を掛ける
- ④ すべての教材の合計時間を出す。

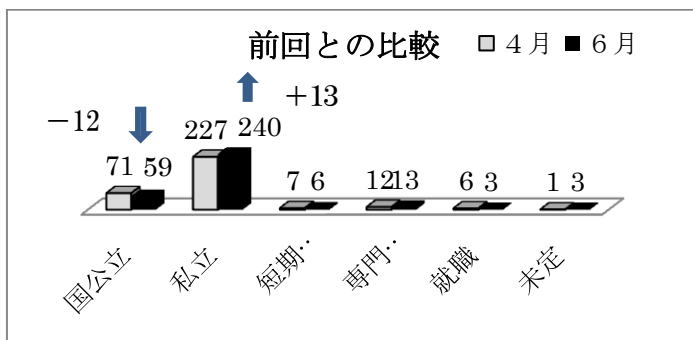
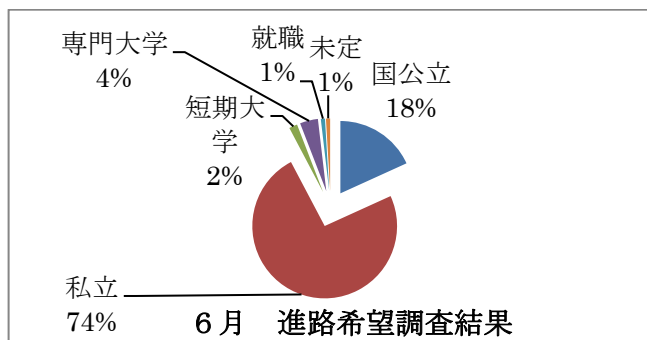


②で単分量あたりにかかる時間を見積もるのがポイントで、実際に数ページやってみるのが一番わかりやすいと思います。2周3周とやるなら、その分の時間も加算しましょう。1周目の50～70%くらいの時間でできるはずですが、こうして割り出した必要勉強時間を、1ヶ月半の40日で割ってみてください。おそらく背筋ゾワットするような大きな数字が出るはずですが、しかし、受験生の夏の勉強時間とはそういうものです。夏休みに入る前に必要勉強時間を割り出して自覚しておきたいところです。ちなみに受験生へのアンケート結果では、8月の学習時間は平均1日8.2時間、夏休み中、勉強しない日の平均は3.5日、また合格者の3分の1は勉強しない日は0日と答えています。多くの受験生は7時間前後の睡眠で、早寝早起きパターンで夏休みを過ごした受験生の多くは、夏休みを有効に過ごせたと答えています（蛭雪時代より）。

受験は自己管理能力が問われているといっても過言ではありません。入試の日までに自分の受験科目である内容を、しっかり仕上げられるかどうかの能力を試されています。社会に出て必要とされる能力も、要は同じです。「やるべきことを計画し、実行する」シンプルですが、大変なことです。所沢高校の生徒として、自ら学び考えて行動してきた皆さんなら、必ずやり遂げられると思います。一度しかないそれぞれの人生、悔いが残らないように、自分の決めた目標に向かって自分を信じて夏を過ごしましょう。そして、逃げずに夏休みの1日1日を過ごせた後には、「自信」がついてきます。自信を重ねて本番に臨みたいですね。



三者面談を終えて



三者面談の結果をもとに進路希望調査を行ったところ、上記のような結果となりました。前回より国公立が12名減って私立が13名増加しました。また、6/25(火)の放課後、視聴覚室で国公立大学志願者、格技場で難関私立大学志願者向けガイダンスを実施しました。国公立大学志願者ガイダンスでは、校内模試を活用している、ベネッセコーポレーションの担当者を講師にお呼びしました。本校生が多く受験する大学の、センター合格者の平均得点率やこれからの模擬試験での目標とするべき偏差値など、データを示しての説明がありました。参加者には、具体的な目標がわかり、やる気UPにつながったようです。また、成績を上げるための模試の活用法や、9月まではあせらず土台(基礎学力)作りをしっかりとした人が、受験本番まで成績が伸び続ける事など、受験に向けて大切なことを確認しました。難関私立大学ガイダンスでは、セルフイメージを拡大していくこと、自分だけではなくて皆で困難を乗り越える気持ちを持つことで、良い成果がもたらされることを確認しました。そのうえで、難関大学は難問や奇問も目立つが、それに惑わされず基礎をおろそかにしない事が大切であることを、具体的に日本史の試験問題を例にとりて話をしました。(所沢高校HPより)

2学期当初の予定

8/30(金)
8:40 SHR
8:50 大掃除
9:50 始業式
11:10 LHR

8/31(土)
8:40 SHR
1限~4限 通常授業
13:30~進路保護者会

9/3(月)
8:40 SHR
1限~6限 通常授業(B週)

2学期の始業式は、8/30(金)です！忘れないように。



※9/19(木)ポキャフラリーコンテストあります！！



塾長のCoffee Break ~夏休みに1日12時間以上の受験勉強をせよ~

今、多くの諸君が受験勉強に取り組み、それが思い通りに進まず自身の才能や受験までの時間の無さにため息をついていることであろう。しかし、全国の多くの受験生(浪人も含めて)も同様に思っている。決して自分だけのことではない。では、こうした状況はどうしたら解消するのだろうか。結論から言えば、それは無い。勉強にこれで十分ということはないからである。だから「種をまいて水をやらない」という状況を嘆いていてもしょうがない。毎日、水をやって育ててゆかなければならない。

受験は失敗を恐れないことではなく、失敗を恐れながらも挑戦する気持ちが大切である。それが受験生の勇気というものである。才能に関しては、こういう研究があります。ドイツで神童と呼ばれるような若い優れた音楽家がベルリンに集められました。その結果、最終的にその音楽家の技術レベルが世界に一流と認められるかどうかは「練習に費やした時間」の一点だけでほぼ説明がつかしました。才能だとか両親が音楽家だとかいう他の要因が入る余地はほとんどないことが分かっています(『ビジネスウィーク誌』2006年8月21・28日号による)。

~埼玉県からのお知らせ~

動画「県議会ってどんなところ？」配信中！
2人の高校生が、議事堂内を見学しながら、県議会について勉強する様子を、県議会ホームページやYou Tubeからご覧になれます(約8分)。ぜひ、見てください。
※ 感想についてアンケートを実施しています。答えていただいた方に、抽選で図書カードをプレゼントします。
詳しくは、埼玉県議会ホームページから ⇒ <http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/>